

製品名: p27 KIP 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21522**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:27kD;Observed MW:27kD

抗原情報

遺伝子名	CDKN1B
別名	CDKN1B;KIP1;Cyclin-dependent kinase inhibitor 1B;Cyclin-dependent kinase inhibitor p27;p27Kip1
遺伝子 ID	1027.0
SwissProt ID	P46527
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

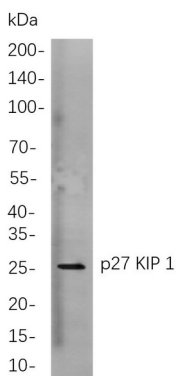
細胞局在: 核。この遺伝子はサイクリン依存性キナーゼ阻害因子をコードしており、CDK 阻害因子 CDKN1A/p21 と限定的な類似性

を有する。コードされているタンパク質はサイクリン E-CDK2 またはサイクリン D-CDK4 複合体に結合して活性化を阻害し、細胞周期の G1 期での進行を制御する。このタンパク質は CDK 依存性リン酸化とそれに続く SCF 複合体によるユビキチン化によって引き起こされる分解によって分解され、細胞が静止状態から増殖状態へと移行するために必要である。この遺伝子の変異は、多発性内分泌腫瘍症 IV 型 (MEN4) と関連している。[RefSeq 提供、2014 年 4 月]

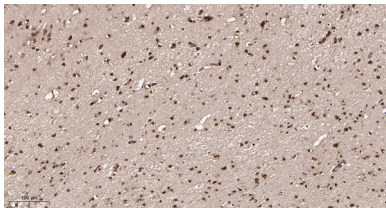
研究分野

-

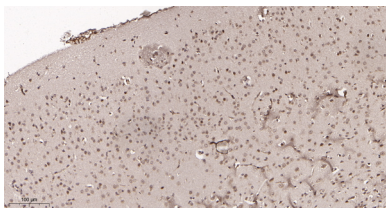
画像データ



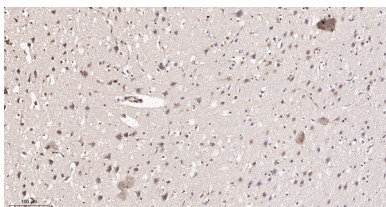
p27 KIP 1 Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。1、p27 KIP 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈した (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用した (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。1、p27 KIP 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。1、p27 KIP 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈した (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用した (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。